

飛騨牛推奨、豪3店目

シドニーで初の認定

【オーストラリア・シドニー＝本社・松田尚康】昨年5月に日本からの牛肉の輸入を再開したオーストラ



認定証などを贈った足立能夫会長(右端)と古田肇知事(左端)とオーストラリア・シドニー、6HEAD

リアで、3店舗目となる「飛騨牛海外推奨店」にシドニーのレストラン「6HEAD(シックス・ヘッド)」が認定された。JA全農岐阜や県などでつくる認定団体「飛騨牛銘柄推進協議会」の足立能夫会長と古田肇知事が同店に認定証などを届けた。

認定は年間50キ以上の取り扱いなどを条件にしている。シドニーでは第1号。足立会長から認定証、古田知事から認定の銘板を受け取った同店マネジャーのアンドリュー・ドナルドさ

んは「シドニーで初めて選ばれてうれしい。恥じないような料理を皆さんに提供し、飛騨牛の良さを伝えたい」と意気込んだ。

現地の飲食店やメディアの関係者ら約20人を招いた昼食会も開かれ、飛騨牛の食感を堪能していた。

また、古田知事らは同日前、県独自に創設し、県産品の海外販路を開拓するために現地の店舗と連携する「グローバル・アンテア・ショップ(GAS)」で、候補店となっているシドニ

ー郊外のセレクトショップ「Ginkgo Leaf(ギンコー・リーフ)」を視察した。現在、7カ国に12店舗あり、同店が決まればオーストラリアで第1号となる。